

家庭学習を充実させるために

子どもたちの「確かな学力」を育むために、学校が取り組むことはたくさんありますが、家庭と学校がより一層連携して取り組むために、本リーフレットをぜひ参考にしてほしい（裏面提言4）ことを具体的に示したものです。一つでも二つでもできることから取り組んでみ

教員が一番大切にしたいことは「授業改善」です。「子どものために…」その思いを共有して、と思います。このページは、「子どもが主体的に家庭学習に取り組む環境を大切にする」（裏面てください）

学校では…

連

携

家庭では…

家庭学習のポイントの共有

- ・予習したことが生きる授業や、家でも調べてみたいと思える授業を展開し、予習復習の大切さを実感させましょう。
- ・教科ごとのバランス・量を考慮して、家庭学習を考えましょう。
- ・一律に同じ課題ばかり出すのではなく、個々の習熟度に応じた家庭学習を工夫して意欲を引き出しましょう。
- ・情報の収集・インタビュー等、人と関わらなければできない家庭学習も計画的に取り入れましょう。
- ・9年間の教科の系統性を生かし、発達段階に応じた家庭学習の習慣の定着方法を校内で共有しましょう。
- ・学年、教科等、横の連携を取り、家庭学習で身に付けさせたいことを校内で共有しましょう。
- ・家庭学習のノートの使い方について、効率的な学習の仕方、情報の整理の仕方を研究し、指導に生かしましょう。
- ・「家庭学習の手引き」等を作成し、子どもや保護者にも家庭学習の仕方、教科の特性等を知らせましょう。
- ・習得した言葉や文字は、生活の中で積極的に使うよう共通に指導しましょう。



主体的に学習に取り組む子

自分のよさを認められる子

復習をする子

学習計画を自ら立てられる子

学力調査で
平均正答率が
高い子ども

全国学力・学習状況調査結果の活用

- ・学力調査結果を個人面談等で説明し、個々の学習目標を設定し、家庭学習に生かせるよう指導しましょう。
- ・学習状況調査の結果を活用して、主体的な学習習慣の大切さを家庭に知らせましょう。



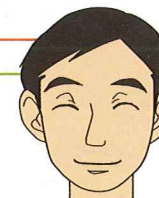
ほめて伸ばそう 子どもの力

- 「毎日、宿題やって、えらいね。」
- ・当たり前のことができるってすごい。怒られたらやる気がなくなります。勉強好きにするには取り組む姿勢をほめることです。
- 「問題の意味が分かったら、教えてね。」
- 「間違ったことがわかることがすばらしい。」
- ・テスト結果で、つい小言を言うことありませんか？子どもは、失敗から学ぶのです。結果ではなく、学習に取り組む過程や姿勢をほめましょう。
- 「テレビを消して、集中しよう。」
- ・子どもに時間の使い方を決めさせることも大切です。学習に集中して取り組めたらほめましょう。



基本的な生活習慣

- 「おいしいね。」「おいしいでしょ？」
- ・家族で食べるからおいしいのです。学力と朝食の関係も深いのです。
- 「この本、おもしろかったよ。」
- ・新聞を読んだり読書をしたり、子どもに親の後ろ姿を見せましょう。たまには読み聞かせもいいものです。
- 「ゲームや携帯電話は、時間を決めようね。」
- ・与えるのも与えないのも保護者の責任です。使い方を約束しましょう。



地域では…

- 「私でよかったら…」
- ・読み聞かせ、学習支援、昔の遊び、野菜の作り方…地域の皆さんに声を掛けられることで、子どもは迷わず育ちます。
- 「地域の子は地域で育てる」
- ・社会総がかりで子どもを育てましょう。心の通い合うあいさつは、とても大切です。あいさつに一言加えると、一層笑顔がはずみます。

